

ツヤゴケ科

カラフトツヤゴケ

Entodon scabridens Lindb.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

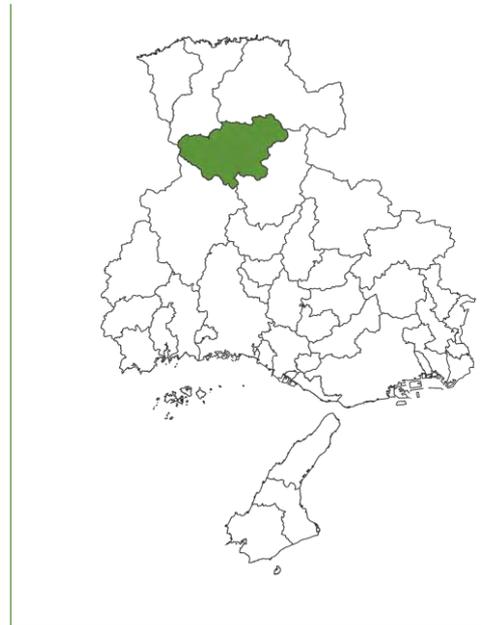
養父市

■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

-

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

茎は、やや太い斜上する枝をやや密に出す。葉は丸く枝につき、扁平にならず、乾いたとき葉を含めて幅1.5-2mm。茎葉は全長約3mm、卵形で深く凹み、先は急に細くなり、凸頭状、葉縁に細かい歯があるか、ほぼ全縁。中肋は2叉して短い。葉身細胞は線形、翼細胞は方形で密。雌雄同株(異苞)。蒴柄は長さ1.5-2cmで褐色から赤褐色。雌苞葉は長さ3mm以下。蒴は長楕円形から円筒形。外蒴歯にパピラがある。内蒴歯は線形で、外蒴歯よりもずっと短くてもろく、しばしば痕跡的。胞子は直径15-32 μ mになる。山地の樹上に生える。